

自転車競技部 近畿高体連主催 近畿大会ロードの部 インターハイ予選 結果報告

大会日 令和3年6月13日(日)

会場：奈良県宇陀市特設ロードコース

1周 6.7km×12周=80.4km

参加者 3年生 北口・白井田

8名 2年生 桧谷

1年生 橋本・塚本・中野

大阪春季大会の結果、本校は4名の出場権を獲得し、監督推薦枠も4名分確保していましたので、部員全員6名が近畿大会に出場しました。

近畿大会ロードの部はインターハイ予選を兼ねており、インターハイの出場枠22名の座をかけて110名の選手が、10時に宇陀市農村環境改善センター「農林会館」前をスタートしました。

去年は、コロナ禍の影響で中止されましたので2年ぶりのレースとなりましたが、レース前の整列時からぽつぽつと雨が降り出し、あいにくの空模様でのロードレースとなりました。しかし、レースは1周回目から6.7kmを9分54秒で回ってくるという、平均時速41kmのハイスピードレースとなりました。

本校の作戦はとにかく先頭集団で様子を見ながらレースをすすめるというものでしたが、1周目から集団落車が発生し北口が巻き込まれ、落車は何とか避けましたが、機材が損傷して1周回終了時にリタイヤ。

2周目には落車の影響で集団から遅れていた桧谷がタイムオーバー、同じく落車の影響で集団から遅れた中野が4周目に、塚本が5週目にタイムオーバーとなった。

残りの2名は、何とかハイペースの集団についていたが残り3周回で白井田がタイムオーバー。1年生ながら頑張っていた橋本も残り2周回でタイムオーバーとなって本校のロードレースは終了しました。

完走39名のサバイバルレースとなりました。

※ レース風景の写真は雨の中でのレースであったことと顧問が役員を兼ねていましたので撮影できていません。